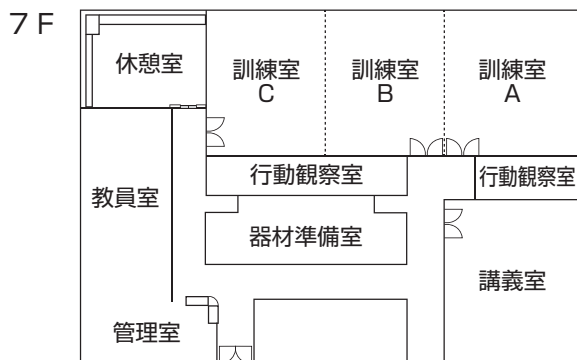


シミュレーションセンターの位置づけ

- シミュレーションセンターでは、医学部・看護学部の学生、および医師・看護師をはじめとした医療従事者に対する教育環境の提供を行っています。
- 学習効率を最大限に高めるため、当日の準備や片付けについては事前打ち合わせを元にセンターのスタッフが行っています。
- 学習課題や評価方法などの企画、シミュレータの操作などに関しても、成人教育などの知見を元に、効率的・効果的・魅力的なシミュレーションが運用できるようサポートを行っています。

施設内案内図



利用の手引き／貸し出し案内

- 1 予約受付：平日 8:30～17:15 (7F)
 - センターにて、申請用紙にご記入ください。
 - 電話予約の場合、所属・申請者氏名・予約日時・使用目的・使用部屋・使用器材・レイアウトの確認をします。
- 2 事前準備の関係上、予約日前日に連絡をお願いします。
- 3 器材の借用についても同様です。
- 4 予約日が学生の授業と重なった場合「学生教育を優先」となり、変更のお願いをすることがあります。

Access



●電車をご利用になる場合

JR宇都宮線「自治医大駅」下車、徒歩15分または接続バスで5分
 (東北新幹線を利用の場合は「東京方面からは小山駅」、「東北方面からは宇都宮駅」で下車し、宇都宮線の普通電車に乗り換え)

●お車をご利用になる場合

国道4号、4号バイパスで小山市内より約12km、宇都宮市内より約25km

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

自治医科大学 記念棟7階

Tel.0285-58-7455 (内線 3850) Fax.0285-44-8679

Web <http://www.jichi.ac.jp/msc/> E-mail jmsc@jichi.ac.jp



自治医科大学

メディカルシミュレーションセンター

Jichi Medical University

Medical Simulation Center

シミュレーションセンターの目的

自治医科大学の建学の精神は、「へき地等の地域社会の医療の確保及び向上のために高度な医療能力を有する医師並びに住民の保健医療及び福祉に貢献できる総合的な看護職を養成すること」です。そして、地域医療を支える人材の育成が第一の目的です。

当センターでは、学内・病院内へのシミュレータの利用と定着、学外へのシミュレータ利用の拡大、シミュレータを利用した訓練手法と機材の開発などを目標として取り組んでいます。

シミュレーション教育の意義

卒業生は各地域にて、誰の助けも借りず一人で対応していかなければならない場面もあります。この実践的能力を高めるために、シミュレータを利用したトレーニングは極めて有効です。

これまで医療では、技術は現場で習得することが実践的で唯一の方法と考えられてきました。

確かに本物を使つてのトレーニングは効果が期待できます。しかし、この教育訓練方法はリスクが高くなります。そこで、シミュレータを利用すれば、基本的な技術の習得や深い知識の獲得が支援され、リスクの低減が期待できます。

当センターでは、シミュレータの利用と定着、及び訓練手法・機材開発などに取り組んでいます。

保有シミュレータ

高機能シミュレータ(成人、小児、乳児、新生児)

BLSシミュレータ(成人、小児、乳児)

看護シミュレータ

画像診断(腹部エコー、心エコー)

縫合(自動評価機能あり/なし)

分娩

腹腔鏡トレーニング

窒息解除トレーニング

外科手洗い練習用設備

穿刺(中心静脈、腰椎、静脈、動脈)

視診(耳鏡、眼底)

触診(直腸、前立腺、乳房、浮腫)

聴診(心音、肺音)

導尿(男性、女性)

看護シミュレータ

血圧測定

胃管挿入

胸腔穿刺/胸腔ドレーン

気道管理

※保有台数や詳細については、別途お問い合わせください。
※他にも共同研究・開発を行っているシミュレータがあります。

シミュレーションの実践例

BLS (AED研修)

医療安全および救急救命の意識を高めていくため、医療者に加えて一般事務職員も対象として、救急蘇生法およびAED利用方法の講習会を開催しています。



診断シミュレーション

新人研修医などを対象に、高機能シミュレータを複数台並べ、次々に診察しつつ異常所見を発見していく形式でのシミュレーションを実施しています。



多重課題シミュレーション

センター内に作成した4床の仮想病室において、新人看護師を対象とした多重課題シミュレーションを行っています。インストラクショナル・デザインの知見などを取り入れ、年々改善を重ねています。



聴診



心エコー



救急蘇生



CV挿入(カテトレ)



JMSS (Jichi Medical Study Session)

当センターの教員が顧問となり、医学部および看護学部の学生による自主的な学習サークルであるJMSS (Jichi Medical Study Session) が誕生し、意欲的な活動をはじめています。

